

教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

医学部看護学科では、大学の理念及び医学部の理念・教育目的・人材育成目標に基づき、卒業時に達成する学修成果を「アウトカム」として掲げ、それらを達成するのに必要な能力を「コンピテンシー」として設定しています。コンピテンシーを修得するために必要な体系的な教育課程の編成、教育・学修方法の導入により、学修成果の評価を実施します。

具体的な方針は以下の①～③のとおりです。

① 教育課程の編成の方針

1. 本邦における看護学教育の指針である「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」,「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」,「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 看護学分野」及び「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」を参考に独自のカリキュラムを編成します。
2. 本学の共通・教養教育の理念に基づき、医療人としてふさわしい良識・教養を養うための共通教育科目を編成します。
3. 専門基礎科目と専門科目を関連づけて学修できるようにカリキュラムを編成します。
4. 看護のプロフェッショナル（高度専門職業人）として倫理的であるために必要な能力と、生涯にわたり自発的にキャリア開発を継続する基本的能力を涵養するカリキュラムを編成します。
5. グローカルな視点で地域社会のニーズに対応できるよう、1年次から4年次まで発展的に学ぶカリキュラムを編成します。
6. 看護師国家試験受験資格に加えて、保健師／助産師国家試験受験資格（選択制）を満たす統合カリキュラムを編成します。

② 教育課程における教育・学修方法に関する方針

7. 自学・自修の機会を十分に取り入れたカリキュラムにより、学生の能動的学修を支援します。
8. 1年次から4年次まで看護学研究を体験する機会を設けることで、自ら学ぶ意欲とリサーチマインドを涵養します。
9. 臨地実習では、対象者を多面的にアセスメントし、科学的根拠に基づいた看護計画を立案・実践できる能力を育成します。

③ 学修成果の評価の方針

10. 各科目は、予め定められた評価方法に基づき、厳格に成績評価を行います。
11. 各アウトカム、コンピテンシーの達成度、および各学年までに修得した知識や技能の総合的評価は「看護学科アウトカム・コンピテンシー・評価対応表」により行います。
12. 本学の看護学教育をより良いものとしていくため、カリキュラムの評価と検証を行い、継続的に改善します。その評価・検証体制は、「アセスメント・ポリシー」に明示しています。